

〔D類養護教育専攻 対象〕

## 小論文 解答例

令和4年度
一般選抜前期
私費外国人
帰国生

## 問1 (出題意図)

図表1から子供たちを取り巻くICT環境がどのように変化してきたか、グラフを正しく読み取る能力をみる問題である。

## (採点のポイント)

情報通信機器の世帯保有率の推移を読み取ることができるか。PCやFAXなどの保有率の推移と比較し、スマートフォンやタブレット端末の保有率の動向について、正しく読み取り論じることができるか。また、ウェアラブル端末などの新たな情報通信機器の出現についても取り上げることができるか。

誤字や脱字、当て字などを使用していないか、制限文字数に近い記述となっているか。

## 問2 (出題意図)

図表1や、文章を踏まえて、ICT機器使用における危険性や健康課題について、解答させる問題である。子供たちを取り巻く健康課題などに関する知見と、ICT機器使用におけるとその危険性等について知識や経験に基づき解答できるかをみる。

## (採点のポイント)

子供たちの健康課題や問題点としては、スマートフォンやタブレット端末の過度の使用により、視力低下、ドライアイ、睡眠前の使用による睡眠障害、ブルーライトによる目の影響、ヘッドフォン使用による騒音性難聴の発病、姿勢の悪化、等、挙げることができるか。また、ICT機器への依存状態や、ネット上の情報(健康情報等)を鵜呑みにしてしまうことの危険なども挙げるすることができるか。

誤字や脱字、当て字などを使用していないか、制限文字数に近い記述となっているか。

## 問3 (出題意図)

問2をふまえて、ICT機器の利点を、健康課題への解決のためにどのように活かすことができるかを問う問題である。健康の保持増進や病気の予防や治療のために、ICT機器の健康情報への活用例等についての知識や、実際に活用している経験などに基づいた洞察を統合することができるかを見る。

## (採点のポイント)

- ・タブレット端末などのアプリケーションを用いて、個人の様々な健康状態のデータを一括管理する。
- ・アプリケーションと医療機関が連動し、継続的に健康状況を把握し、管理する。
- ・タブレット端末やPCを用いて遠隔で診察や相談を行う。
- ・学校などで、健康観察結果をタブレット端末に入力することで、データの収集統計を一括して行い、集団の健康状態の把握、管理を行う。
- ・学校における健康相談を遠隔で実施することで、不登校児童生徒等も気軽に健康相談を受けることができる。
- ・子供の健康状態を自分でアプリケーション等を用いて管理させることで、子供の自己管理能力を育成する。

などについて挙げるることができるか。誤字や脱字、当て字などを使用していないか、制限文字数に近い記述となっているか。